

2026-2027 休館日カレンダー

2026 4	5	6
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5 6
5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13
12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20
19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27
26 27 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30
	31	
7	8	9
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4	1	1 2 3 4 5
5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12
12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19
19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26
26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30
	30 31	
10	11	12
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5
4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	6 7 8 9 10 11 12
11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	13 14 15 16 17 18 19
18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	20 21 22 23 24 25 26
25 26 27 28 29 30 31	29 30	27 28 29 30 31
2027 1	2	3
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6
3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	7 8 9 10 11 12 13
10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	14 15 16 17 18 19 20
17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	21 22 23 24 25 26 27
24 25 26 27 28 29 30	28	28 29 30 31
31		

企画展	■京築に息づく漆 漆芸家 廣田洋子展 2026年4月18日(土)～6月28日(日)
	■まさびコレクション 山と山と山～富士山・里山・山水画～ 2026年10月31日(土)～2027年1月24日(日)
特別展	■中原未央 儂さと記憶の標本 2026年7月18日(土)～10月4日(日)
	■「竹久 夢二」～大正ロマンへの誘い(いざない)～ 2027年2月13日(土)～3月28日(日)

- ... 美術館の休館日
- ... ギャラリートークの日
- ... 無料デー (5/5「こどもの日」無料デー、11/3「文化の日」無料デー)
※5月5日「こどもの日」は中学生以下のお子様と一緒のお客様は、観覧料無料

INFORMATION 総合案内

■開館時間・休館日・観覧料

- 開館時間** 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日** 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日が休館)
お盆、年末年始、展示入替期間
(休館日カレンダーを参照ください)
- 観覧料** 一般:500円
高校生・大学生:300円(学生証を提示ください)
中学生以下:無料
団体(15名様以上):400円
※障がい者手帳等を提示された本人と介護者
1名は無料
※特別展「竹久夢二」は特別料金

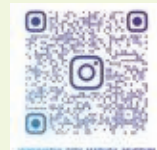
■交通アクセス

- JR** JR日豊本線「行橋駅」下車
行橋駅東口より徒歩15分
- 高速バス** 西鉄バス福岡一行橋線「行橋駅東口」下車
徒歩15分
- 路線バス** 太陽交通バス香春線「本町アパート前」下車
徒歩2分
- 自動車** 東九州自動車道「行橋IC」から一般道に出て
「行橋IC入口」信号を右折し、国道201号線を
市街地方面に向かい、「行橋駅入口」信号から
約500m進んだ右側。駐車場無料



行橋市増田美術館
Yukuhashi City Masuda Museum of Art

〒824-0001 福岡県行橋市行事5-4-38
Tel.0930-23-1824 Fax.0930-22-4857



まさびインスタグラム

行橋市増田美術館

Yukuhashi City Masuda Museum of Art

2026年度展覧会スケジュール

2026.4 - 2027.3



中原未央《記憶-tomato》
特別展 「中原未央 儂さと記憶の標本」

行橋市増田美術館について

京築地区で活躍した実業家・増田博氏(1923-2021)が収集したコレクションからなる美術館です。

増田氏は、およそ半世紀にわたり美術作品の収集に情熱を注ぎ、自らのコレクションを通じて地元の人々に貢献したいと平成17年に「増田美術ギャラリー」を設立。のちに増田美術館として所蔵作品を公開してきました。その後所蔵作品と建物の一部が行橋市に寄贈されたことを受け、平成29年4月より「行橋市増田美術館」となりました。

コレクションは、橋本雅邦、横山大観、川合玉堂、竹内栖鳳ら近代日本画を代表する画家たちの作品や、明治から現代までの名匠たちの陶磁器を中心に、書、彫刻などの優れた作品を数多く有しています。当館ではこれらの作品を様々なテーマをもとにご紹介する企画展をはじめ、地域の方々の多彩な芸術体験の場となる特別展やイベントを開催しています。

展覧会以外の美術館の取り組み

中学生鑑賞教育プログラム

市内の中学2年生を対象に美術科授業のサポートとして、展覧会の鑑賞教育を行います。

ギャラリートーク

原則第2金曜日の14:00-14:30。事前申込は不要です。
参加費無料ですが、観覧料は必要です。
くわしい日程は「休館日カレンダー」をご覧ください。
8月、9月は日程変更しています。

「こどもの日」「文化の日」の取り組み

5月5日は「こどもの日」観覧無料デー、お子様(中学生以下)とご来館いただいた方は観覧無料です。
11月3日「文化の日」はどなたも無料デーです。
ぜひ美術館に足をお運びください。

MASUBI

スケジュール	2026	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027	1	2	3	
企画展			企画展 京築に息づく漆 漆芸家 廣田洋子展							企画展 ますびコレクション 山と山と山 ~富士山・里山・山水画~					
特別展				特別展 中原未央 <small>はかな</small> 儂さと記憶の標本									特別展 「竹久 夢二」~大正ロマンへの誘い~ <small>いざな</small>		

企画展

2026.4.18(土) ▶ 6.28(日)

会場 新館特別展示室1、2

京築に息づく漆 漆芸家 廣田洋子展

京築地域で長く制作を続ける漆芸家・廣田洋子氏。廣田氏の作品には、自然素材である漆のやさしさと、毎日の暮らしにずっと溶け込むような温もりが込められています。なかでも本展で紹介する漆芸作品は光の当たり方によって表情が変わり、思わず手にとりたくなる魅力があります。器としての使いやすさと、思わず見入ってしまう造形の美しさを併せ持つ廣田氏の作品を通じて、漆の美しさとやさしさを感じてください。



廣田洋子《堆漆香合石楠花》

特別展

2026.7.18(土) ▶ 10.4(日)

会場 全館

中原未央 はかな 儂さと記憶の標本



中原未央《ムベのある箱》

中原未央は、福岡県出身の画家で、果実をモチーフにした写実絵画で知られています。

その作品には、作者が抱く生と死が内在する神秘性、かつ生命に対する畏敬の念が、果実をとおして描き出されています。

作者にとって果実は、儂きものの象徴であり、自身の投影でもあります。トロンブリユク(だまし絵)を取り入れた心象風景は、確かな描写力と重厚な画風、構図の巧みさもあいまって、現実に存在しているかのような錯覚を起こさせます。

儂さと記憶の標本をお楽しみください。

企画展

2026.10.31(土) ▶ 2027.1.24(日)

会場 本館展示室、新館特別展示室1

ますびコレクション
山と山と山 ~富士山・里山・山水画~

当館所蔵品のなかから、山をテーマに作品をご紹介します。古くから数々の芸術作品のモチーフとなってきた富士山を題材に制作された池田満寿夫《富士百景》や横山大観《暁山雲》など、当館のコレクションをご覧ください。

また、里山の情景を描いた作品や山水画。そして、色鮮やかな秋の山や静寂に包まれた雪山など、季節によって表情を変える山々の姿をお楽しみください。

登らなくても楽しめる! そんな、眼と心で楽しむ山の旅はいかがでしょう。



池田満寿夫《富士百景》

特別展

2027.2.13(土) ▶ 3.28(日)

会場 新館特別展示室1、2

「竹久 夢二」~大正ロマンへの誘い~ いざな



竹久夢二《港屋絵草紙店》(木版画)

竹久夢二は、大正時代を中心に明治から昭和にかけて活躍した大正ロマンを代表する画家であり詩人でもあります。

彼の描く女性は、「夢二式美人画」と呼ばれ、それまでとは違うどこか愁いを帯びた大きな目、そのまなざしや視線でさえも抒情を感じさせてくれます。本展では、美人画の肉筆に加えて、当時の雑誌や楽譜の表紙絵、生活雑貨のデザイン、子どものために描いた作品など、夢二の多岐にわたる創作活動をご紹介します。